本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

ネットワーク設定ガイド

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ネットワーク設定について困ったときは

第13章 トラブルシューティング

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

サポート ブラザー

3 お客様相談窓口で相談
［ブラザーコールセンター］
0120-590-381
受付/9:00～20:00（土曜・祝日～17:00）
※日曜・当社指定休日は除きます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

オンラインユーザー登録　https://regist.brother.jp/

Version A

目　次

本書のレイアウトについて

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われているマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

ボタンについて

お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンと、デザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

商標について

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista™ の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh® 、Mac OS® 、iBook® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
Wi-Fi、WPA は、Wi-Fi Aliance の登録商標です。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

「画面で見るマニュアル」の表示画面と操作

「画面で見るマニュアル」（HTML 形式）の表示画面と操作を簡潔に説明します。
※この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

表紙

1	本マニュアルの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 機能一覧／仕様などについて説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本マニュアルを印刷するには」 「画面で見るマニュアル」を印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
5	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
6	サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のホームページに移動します。

内容

1	本マニュアルの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	現在のページを印刷します。
5	次のページに移動します。
6	操作内容を表示します。
7	現在のページの最上部に移動します。
8	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
9	前のページに移動します。
10	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本マニュアルを印刷するには」 「画面で見るマニュアル」を印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
11	中見出し・小見出しです。
12	大見出しです。
13	トップページに移動します。

ネットワークの概要

本製品のネットワークインターフェースを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本製品で原稿のスキャンや印刷ができます。
本製品は、IEEE802.11b/g 無線ネットワークに対応し、無線認証およびセキュリティを使用したインフラストラクチャ通信またはアドホック通信で動作します。
Windows® をお使いの場合は、付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェースや PC-FAX 送信時に使用する電話帳の設定が簡単にできます。Macintosh® をお使いの場合は、BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェースの設定ができます。本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

ネットワークプリンタ機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™ Mac OS X 10.2.4 以降）

本製品のネットワークインターフェースは TCP/IP に対応しています。TCP/IP の印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™ Mac OS X 10.2.4 以降）

白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンへ直接保存できます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™ Mac OS X 10.2.4 以降）

アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

ネットワーク PC-FAX 受信機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™）

受信したファクスを、本製品とネットワーク接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

ネットワークリモートセットアップ機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™ Mac OS X 10.2.4 以降）

本製品の設定をパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集することができます。

ネットワークメディアカードアクセス機能
（Windows®2000/XP/Windows Vista™ Mac OS X 10.2.4 以降）

本製品に挿入したメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）にネットワーク経由でアクセスできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Light
（Windows®2000/XP/Windows Vista™）

付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用すると、本製品のネットワークインターフェースの設定が簡単にできます。

管理ユーティリティ　BRAdmin Light
（Mac OS X 10.2.4 以降）

付属のソフトウェア　BRAdmin Light を使用すると、本製品のネットワークインターフェースの設定が簡単にできます。

無線 LAN 機器使用の際のご注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の設置場所によって、最大 70 メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

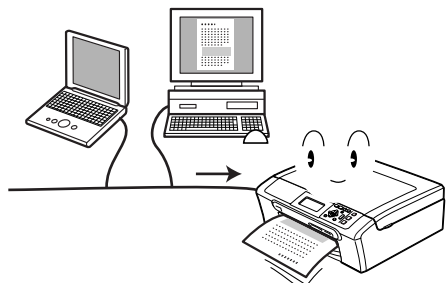
「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式を表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「**---**」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

やりたいこと目次

ネットワークプリンタとして使う

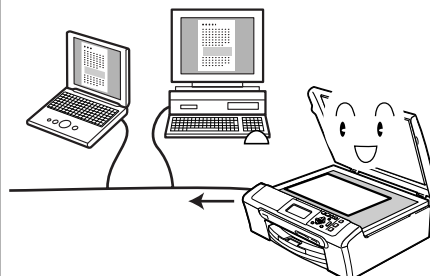
本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

・**Windows®** の場合 P.4-2

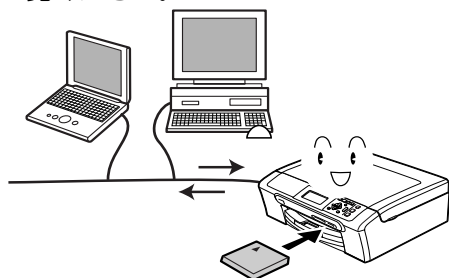
・**Macintosh®** の場合 P.9-2

ネットワークスキャナとして使う

本製品をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

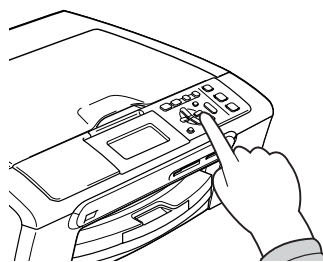
・**Windows®** の場合 P.5-1

・**Macintosh®** の場合は、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

ネットワークでメディアを利用する [ネットワークメディアカードアクセス]

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードやUSBフラッシュメモリーなどのメディアにアクセスできます。

詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使ってネットワークの設定をする

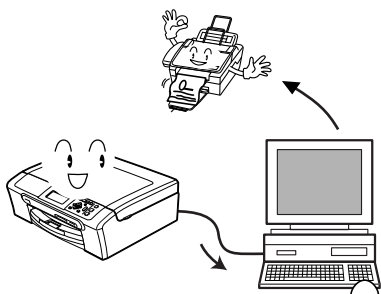
操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。

P.2-2

ネットワーク PC-FAX を使う

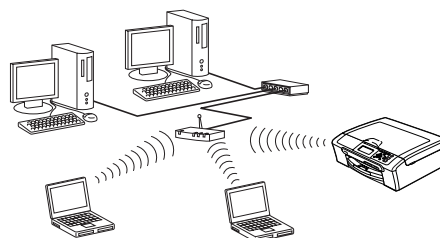
パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを印刷せずに送信できます。

・**Windows®** の場合 P.6-1

・**Macintosh®** の場合 P.10-1

ネットワーク PC-FAX 受信機能については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

無線 LAN を使う

LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。

P.3-1

はじめに

第１章 ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
手動でインストールする場合は、以下の手順で行います。

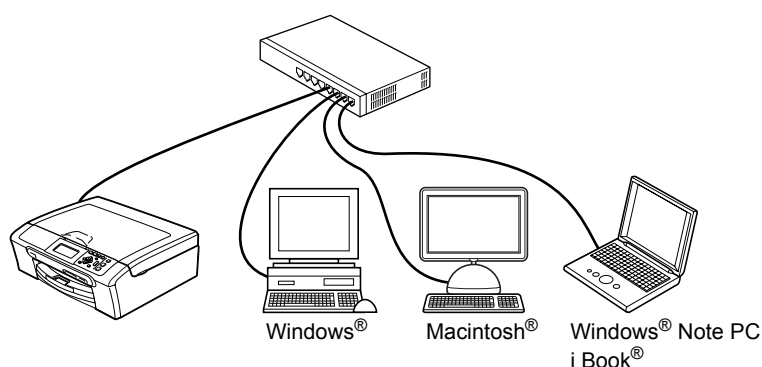
ネットワークの接続方法を決める

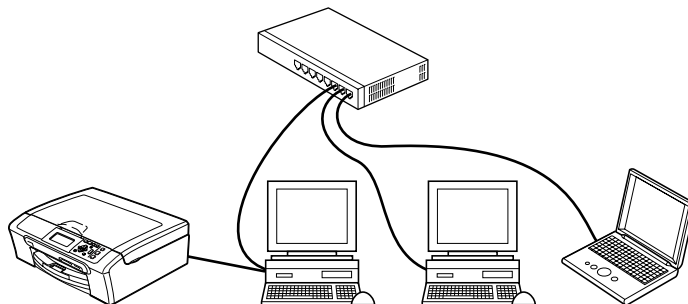
ネットワークプリンタを接続する場合、各コンピュータからブロードバンドルータやハブを通じて直接本製品を使用する「ピアツーピア接続」と、本製品に接続しているコンピュータを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。

本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

有線 LAN の場合

ピアツーピア接続

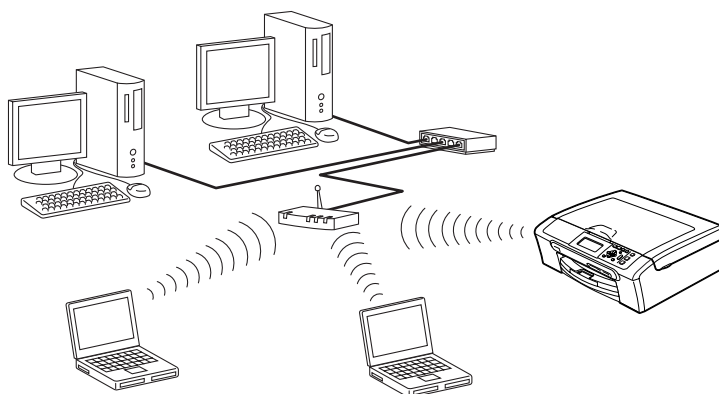
各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。

ネットワーク共有

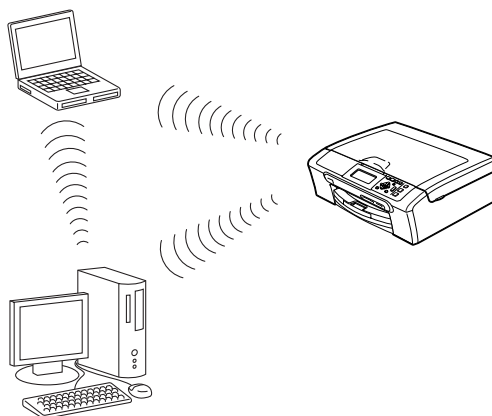
プリンタに直接接続されているパソコンにのみプリンタポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンも本製品を共有します。ただし、本製品に接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンは本製品を使用できません。

ネットワーク共有の方法については Windows® の共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

無線 LAN の場合

無線 LAN には、インフラストラクチャ通信とアドホック通信の 2 つのタイプがあります。

インフラストラクチャ通信

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

アドホック通信

アドホック通信のネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷を直接受け取ります。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

LAN ケーブル

本製品とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。LAN ケーブルにはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

無線 LAN をご利用の場合でも、無線対応していないパソコンとネットワーク接続するときは、LAN ケーブルが必要です。この場合、パソコンと無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続してください。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。

ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能などを持っている機器もあります。

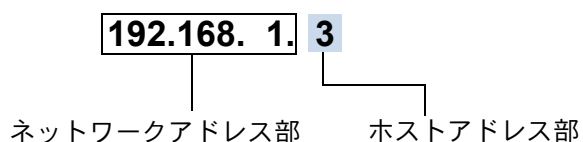
無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルータ）または無線 LAN 対応のパソコンが必要です。

IP アドレスを決める

● IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 (ノード) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 〜 255 までの数字を「. (ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	**IP アドレス**
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、

という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 〜 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。

予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

● IP アドレス配布サーバを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

● IP アドレス配布サーバを利用していない場合

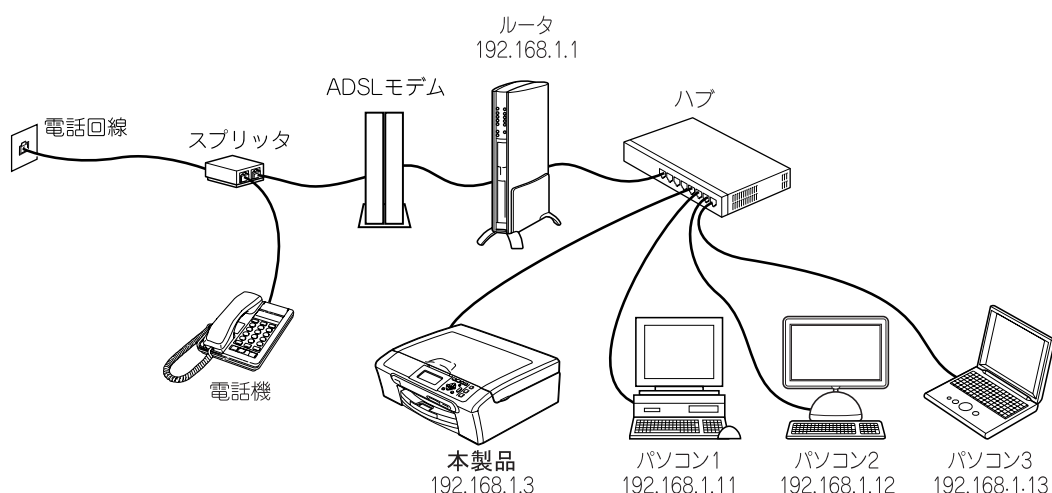
DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本製品の操作パネルを使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

● IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1. 1	255.255.255.0
本製品	192.168.1. 3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0

メモ

ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

ネットワーク内にルータがあるときは

ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DHCP 環境でお使いの場合

ルータには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルータの DHCP 機能を無効にするか、本製品の IP アドレス取得方法を「static」にしてください。「IP 取得方法」P.2-5

ルータについては「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

現在の IP アドレスを調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.2-17をご覧ください。

ネットワークの設定

第 2 章 有線 LAN の設定をする

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本製品のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定できる項目

本製品の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。この章では、有線 LAN の設定に関するメニューについて説明します。

メニュー名と項目名				参照先
LAN	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	P.2-5
			IP アドレス	P.2-6
			サブネットマスク	P.2-7
			ゲートウェイ	P.2-8
			ノード名	P.2-9
			WINS 設定	P.2-10
			WINS サーバ	P.2-11
			DNS サーバ	P.2-12
			APIPA	P.2-13
		イーサネット		P.2-14
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	3 章へ
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			ノード名	
			WINS 設定	
			WINS サーバ	
			DNS サーバ	
			APIPA	
		無線接続ウィザード		
		AOSS ※		
		無線状態	接続状態	
			電波状態	
			SSID	
			通信モード	
	有線 / 無線切替え			
	LAN 設定リセット			

※ MFC-480CN では表示されません。

付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。
Windows® の場合 P.8-1
Macintosh® の場合 P.12-1

操作パネルから数字・文字を入力する方法

- 型番の先頭に「MFC」がついている機種の場合

  0 ～ 9 のダイヤルボタンで入力します。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合

  ▲▼で入力したい値を選びます。▶を押すと、カーソルが右に、◀を押すとカーソルが左に移動します。

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本製品が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。お使いのパソコンが Windows® の場合は BRAdmin Light を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。お使いのパソコンが Macintosh® の場合は、「IP 取得方法」P.2-5 を参照して、「IP 取得方法」を「手動（static（固定））」に設定します。
- 設定の変更は、リモートセットアップでも行うことができます。Windows® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.7-1、Macintosh® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.11-1 をご覧ください。

このメニューは 9 つの項目で構成されています。

- **IP 取得方法**
- **IP アドレス**
- **サブネットマスク**
- **ゲートウェイ**
- **ノード名**
- **WINS 設定**
- **WINS サーバ**
- **DNS サーバ**
- **APIPA**

TCP/IP を設定する他の方法

- BRAdmin Light を使用する場合は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.8-1 をご覧ください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「IP アドレスの設定方法」P.14-2 をご覧ください。

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。お買い上げ時は「Auto」になっています。

1 メニューを押し、▲▼【LAN】OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】を選びます。

2 ◀ ▶で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OKを押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。

3 停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスを変更すると、【IP アドレスの取得方法】は自動的に【Static】に変わります。P.2-5
Static 以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

メニュー を押し、【LAN】 OK 【有線 LAN】 OK 【TCP/IP】 OK 【IP アドレス】を選びます。

IP アドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。

続けて別のメニューを設定するには
で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

を押し、【LAN】【有線 LAN】【TCP/IP】【サブネットマスク】を選びます。

サブネットマスクを入力し、OKを押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例） 255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。

続けて別のメニューを設定するには
で設定したい項目に移動します。

停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルータ）を使用しない場合は 000.000.000.000 にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

を押し、【有線 LAN】【ゲートウェイ】を選びます。

ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例） 192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。

続けて別のメニューを設定するには

で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
お買い上げ時の設定（初期値）は BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルからノード名を入力・変更することはできません。現在のノード名の確認はできます。
  ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。

メニュー を押し、【LAN】OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】を選びます。

ノード名を入力し、OK を押します。

例） BRNxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。

続けて別のメニューを設定するには
で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

WINS 設定

この項目で本製品が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto

DHCP サーバから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバアドレスを取得します。IP アドレスの取得方法が【Auto】に設定されている必要があります。

Static

手動で WINS サーバアドレスを設定します。

1
メニュー を押し、 【LAN】 OK 【有線 LAN】 OK 【TCP/IP】 OK 【WINS 設定】を選びます。

2 で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、 OK を押します。

お買い上げ時は【Auto】になっています。
WINS 設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にノード名を登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にノードを登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

メニュー を押し、【LAN】OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】を選び、

OK を押します。

で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

WINS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
WINS サーバのアドレスが登録されます。

続けて別のメニューを設定するには

クリア/バック を押したあと、で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。スキャン E メール機能を使用する場合は必ず設定してください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

1 メニュー を押し、▲▼【LAN】OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】を選び、OK を押します。

2 ▲▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

3 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2

DNS サーバのアドレスが登録されます。

メモ 続けて別のメニューを設定するには

クリア/バック を押したあと、▲▼で設定したい項目に移動します。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本製品に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.14-2

を押し、【LAN】OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】を選びます。

で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時は【オン】に設定されています。
APIPA の設定が登録されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

その他の設定

●イーサネット

メニュー を押し、▲▼【LAN】 OK 【有線 LAN】 OK 【イーサネット】を選びます。

▲▼でリンクモードを選び、OK を押します。

選べるモードは以下のとおりです。
【Auto】【100B-FD】【100B-HD】【10B-FD】【10B-HD】
イーサネットの設定が登録されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

Auto：　100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。
•100B-FD：100BaseTX Full Duplex
•100B-HD：100BaseTX Half Duplex
•10B-FD：10BaseT Full Duplex
•10B-HD：10BaseT Half Duplex

有線 / 無線切替え

有線 LAN/ 無線 LAN を切り替えます。切り替えた場合は、画面の説明にしたがって、本製品を再起動してください。お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。

を押し【LAN】OK【有線 / 無線切替え】を選び、
を押します。

で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押します。

設定が完了します。

- 本製品では、無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。
- 無線接続の操作（AOSS 機能の利用または無線接続ウィザードの開始）を実行すると、自動的に無線 LAN に切り替わります。

LAN 設定リセット

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

メニューを押し、【LAN】OK【LAN 設定リセット】を選び、OKを押します。

【LAN 設定リセット／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【LAN 設定リセット／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます。

（MFC-XXXX の場合）または＋（DCP-XXXX の場合）を押します。

【再起動しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【再起動しますか？／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます。

（MFC-XXXX の場合）または（DCP-XXXX の場合）を押します。

数秒後に本製品が再起動します。

LAN 設定内容リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容 (MAC アドレス、ノード名、IP アドレス等）を印刷できます。本製品で現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容が印刷されます。

メニュー を押し、▲▼【レポート印刷】OK【LAN 設定内容リスト】を選び、OK を押します。

モノクロ または カラー を押します。

MAC アドレスは、[LAN 設定内容リスト] の <Ethernet Address> の項目を参照してください。

第 3 章 無線 LAN の設定をする

インストール時に無線 LAN の設定をする

「かんたん設置ガイド」では、インストール時に無線 LAN の設定を行う手順を詳しく説明しています。「かんたん設置ガイド」の手順に従って、無線 LAN 設定をしてください。
⇒「かんたん設置ガイド」

無線 LAN の設定をする

ここでは、付属の CD-ROM から無線 LAN 設定を行う場合の手順について説明します。

- パソコンと無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合（Windows®）P.3-1
- パソコンと無線 LAN アクセスポイントが有線で接続されている場合（Windows®）P.3-11
- Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合P.3-12
- Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが有線で接続されている場合P.3-20
- AOSS™ 機能を使うP.3-21
- アクセスポイントを使用せず、本製品にワイヤレスコンピュータを接続する場合
  サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

パソコンと無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合（Windows®）

- 本製品にメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）が差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。

- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。
- Windows® のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows® で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、下記の手順で無効にしてから、ドライバのインストールを行ってください。
  - Windows® XP SP1 の場合
    (1) コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
    (2) 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
    (3)［詳細設定］タブをクリックする
    (4)［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックを外す
    (5) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
  - Windows® XP SP2 の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティセンター］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］をクリックする
    (4) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。「ファイアウォールの問題」P.13-7
  - Windows Vista™ の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］をクリックする
    (4) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。「ファイアウォールの問題」P.13-7

本製品の電源コードをコンセントに差し込みます。

パソコンの電源を入れます。

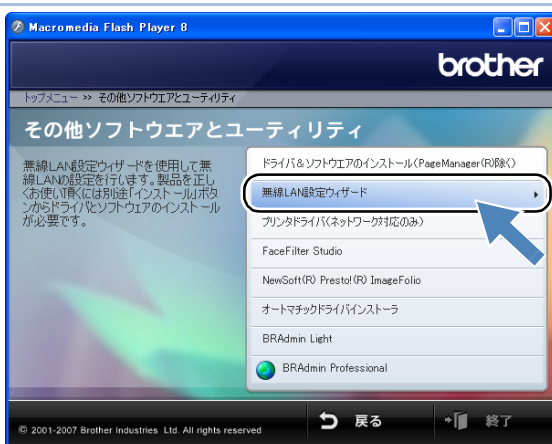
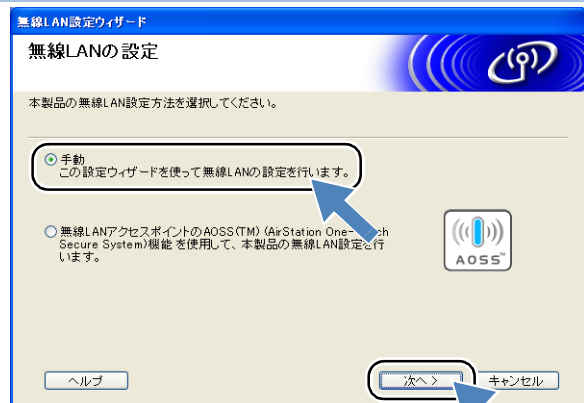
Windows® 2000/XP をお使いの方は「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンします。

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

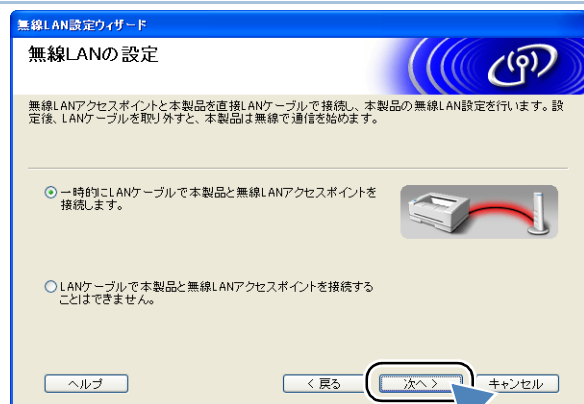
「その他ソフトウェアとユーティリティ」をクリックします。

「無線 LAN 設定ウィザード」をクリックします。

「手動」を選び、［次へ］をクリックします。

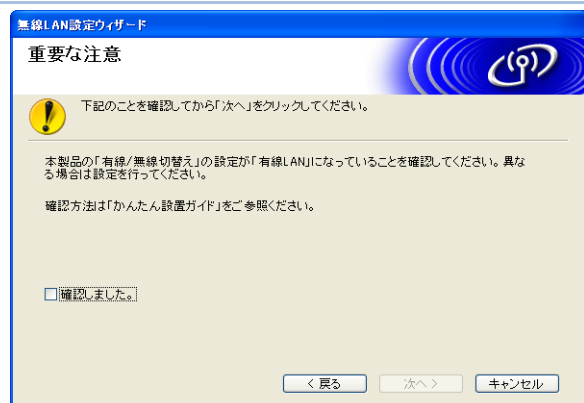
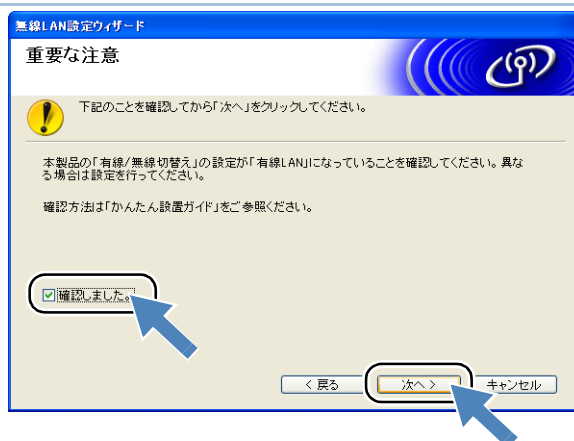
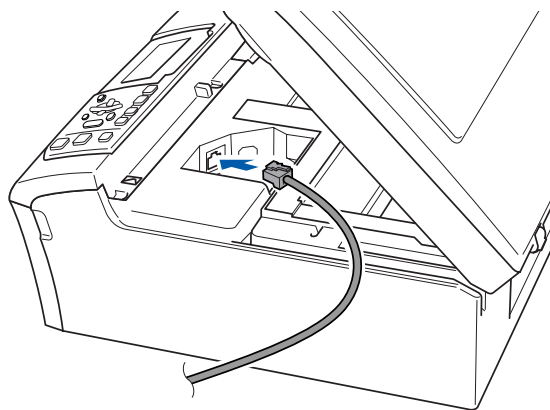
本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続状態を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを一時的に LAN ケーブルで接続できる場合は、「一時的に LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続します」を選びます。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません」を選び、［次へ］をクリックします。

以降の手順は、P.3-6 の 12 をご覧ください。P.3-6

右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼【LAN】 OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、OK を押す。

「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

10 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを、LAN ケーブルで接続します。

メモ

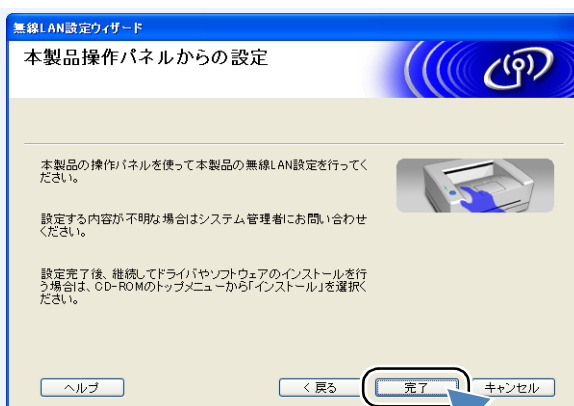
LAN ケーブルがない場合は、以下の手順で設定を行います。

（1）「LAN ケーブルを持っていません」をチェックして [次へ] をクリックする
（2）有線 / 無線切替えの設定を【無線 LAN】にする P.2-15
（3）無線接続ウィザードを使って設定する P.3-32

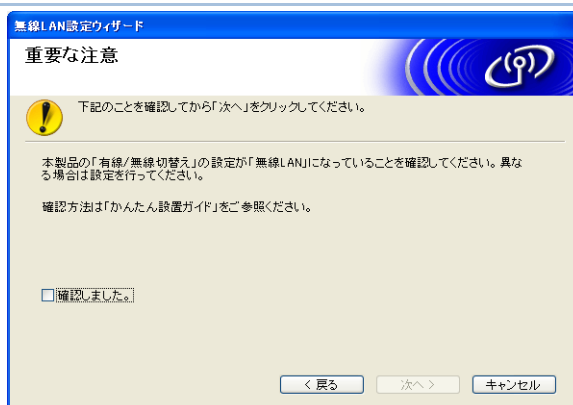
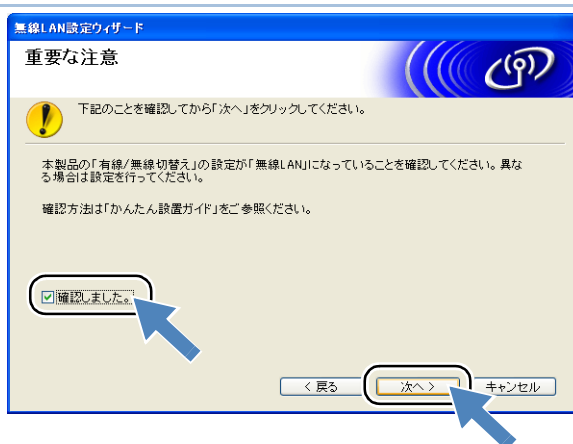
［次へ］をクリックします。
以降の手順は、P.3-8 の 17 をご覧ください。P.3-8

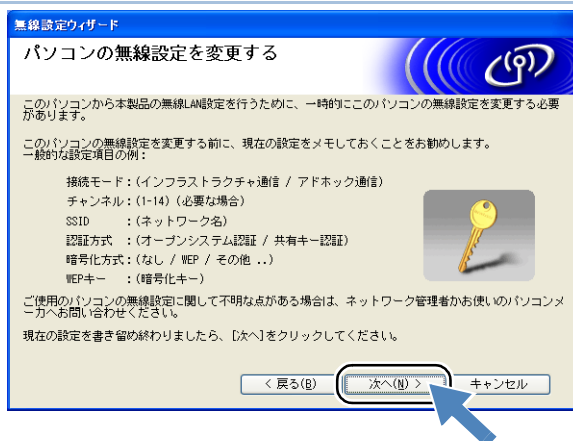
12 「このパソコンは無線 LAN で接続されている」を選び、「無線 LAN アクセスポイントをインフラストラクチャ通信で使用している」をチェックします。
［次へ］をクリックします。

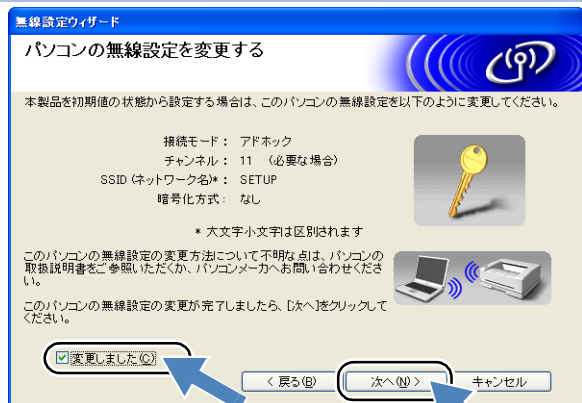
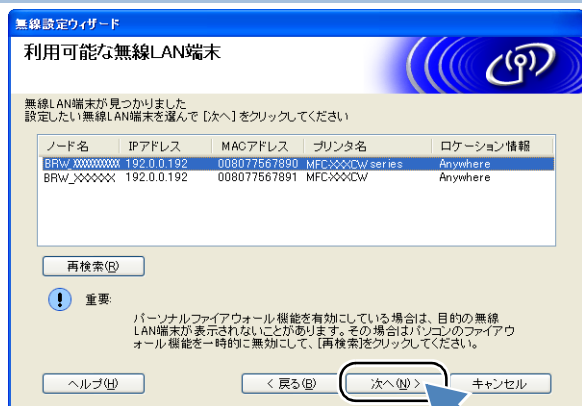
メモ

パソコンと無線 LAN アクセスポイントが LAN ケーブルで接続されている場合は、「このパソコンは LAN ケーブルで接続されている」を選んで、［次へ］をクリックしてください。以降は、本製品の液晶ディスプレイの指示に従って、設定を進めてください。P.3-11 手順 4

13 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を変更します。

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼【LAN】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す。

14 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

15 画面の指示に従って、パソコンの無線設定を書き留め、［次へ］をクリックします。

本製品の無線 LAN 設定終了後に、設定を元に戻す必要があるため、必ず書き留めてください。

画面の指示に従って、パソコンの無線設定を変更し、［変更しました］をチェックして、［次へ］をクリックします。

※ パソコンの無線設定を変更する方法は、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。

17 本製品を選び、［次へ］をクリックします。

18 接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、［次へ］をクリックします。

接続先の無線 LAN アクセスポイントが表示されない場合は、［追加］をクリックして、手動で設定してください。

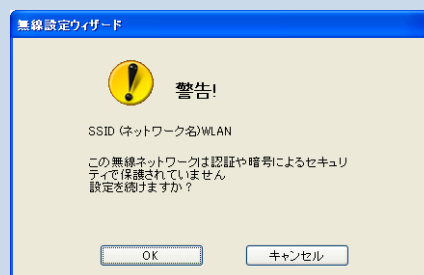
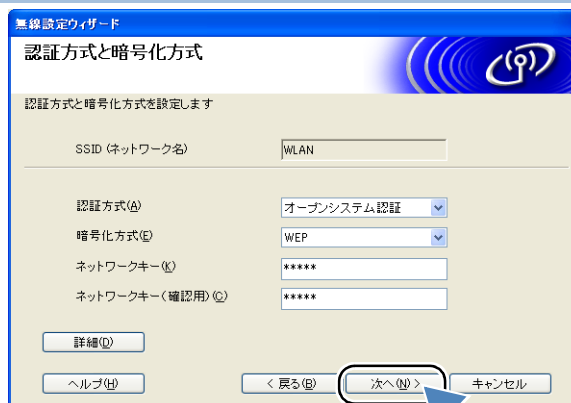
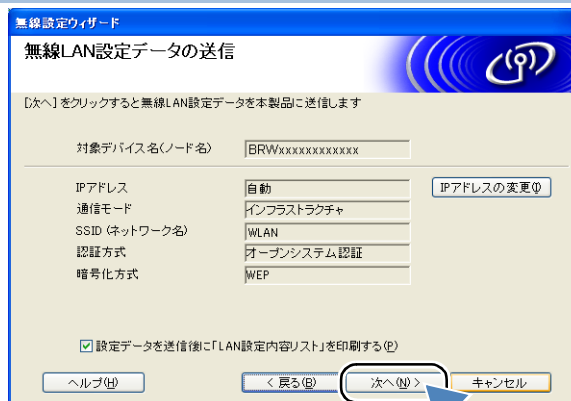
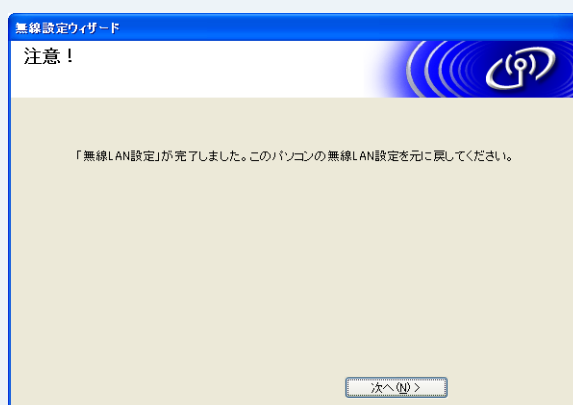
右の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。

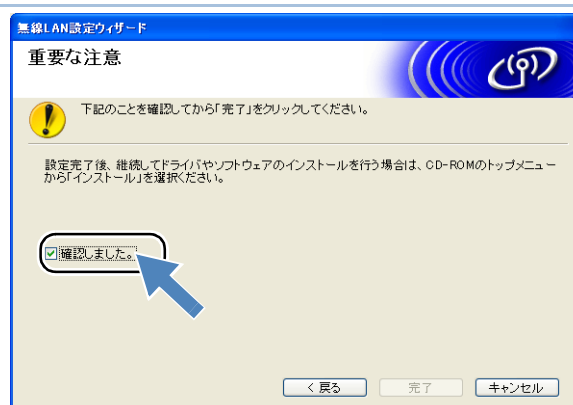
無線設定ウィザード
警告!
SSID (ネットワーク名)WLAN
この無線ネットワークは認証や暗号によるセキュリティで保護されていません
設定を続けますか？
OK　キャンセル

無線 LAN アクセスポイントに設定してあるものと同じ認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定して、［次へ］をクリックします。

設定を確認し、［次へ］をクリックします。

- 本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。

メモ

本製品と無線 LAN アクセスポイントを、LAN ケーブルで接続せずに設定を進めた場合は、右の画面が表示されます。手順 15 で書き留めたパソコンの設定に戻して、［次へ］をクリックすると、無線 LAN の設定が終了します。引き続き、画面の指示に従って、Presto!® Page Manager® やプリンタドライバのインストールを進めてください。

21 LAN ケーブルを接続して設定を進めた場合は、右の画面が表示されます。本製品の LAN ケーブルを外して、［次へ］をクリックします。

22 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックします。

以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、画面の指示に従って、Presto!® PageManager® やプリンタドライバなどのインストールを進めてください。

無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品の LAN 設定を初期化して、再度設定してください。「LAN 設定リセット」P.2-16

パソコンと無線 LAN アクセスポイントが有線で接続されている場合（Windows®）

パソコンと無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合（Windows®）の手順 1~6 を行います。P.3-3

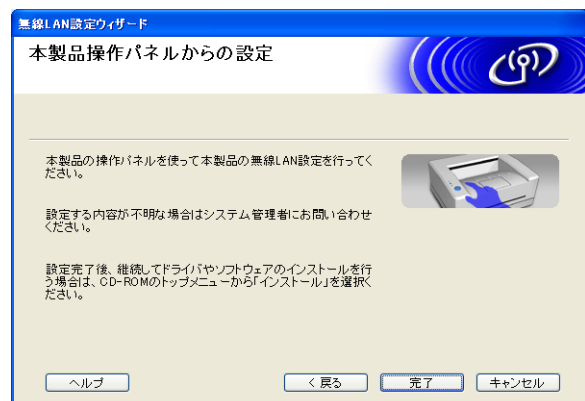
本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続状態を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを一時的に LAN ケーブルで接続できる場合は、「一時的に LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続します。」を選びます。以降の手順は、「パソコンと無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合（Windows®）」の 8 をご覧ください。P.3-4

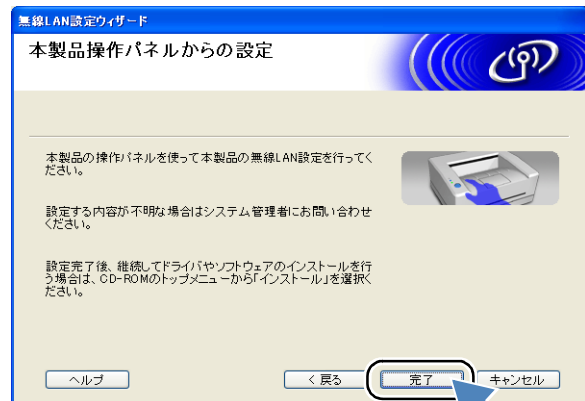
本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません」を選び、［次へ］をクリックします。

「このパソコンは LAN ケーブルで接続されている」を選び、［次へ］をクリックします。

右の画面が表示されたら、以下の手順で設定を行います。

(1) 有線 / 無線切替えの設定を【無線 LAN】にするP.2-15

(2) 無線接続ウィザードを使って設定するP.3-32

無線 LAN の設定が終了したら、［完了］をクリックします。

引き続き、Presto!® Page Manager® やプリンタドライバなどのインストールを進めてください。

無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品の LAN 設定を初期化して、再度設定してください。「LAN 設定リセット」P.2-16

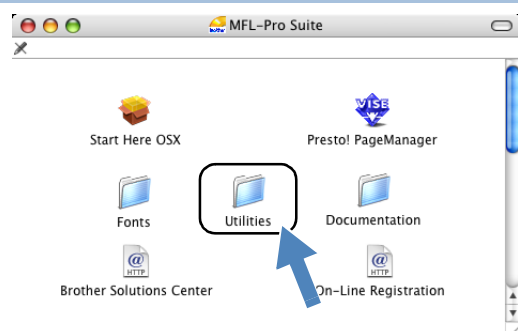
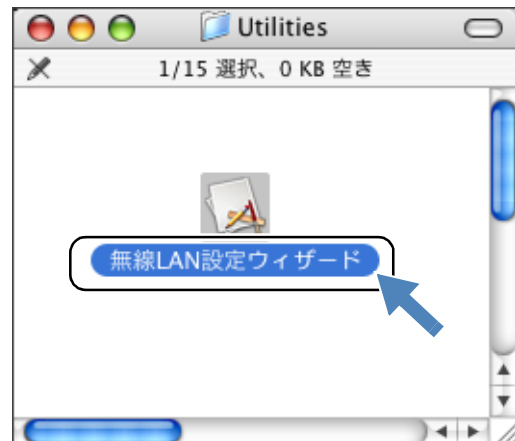
Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合

- 本製品にメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）が差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。

本製品の電源コードをコンセントに差し込みます。

Macintosh® の電源を入れます。

付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。

「Utilities」フォルダをダブルクリックします。

「無線 LAN 設定ウィザード」をダブルクリックします。

6 「手動」を選び、［次へ］をクリックします。

「本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続状態」を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを一時的に LAN ケーブルで接続できる場合は、「一時的に LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続します」を選びます。

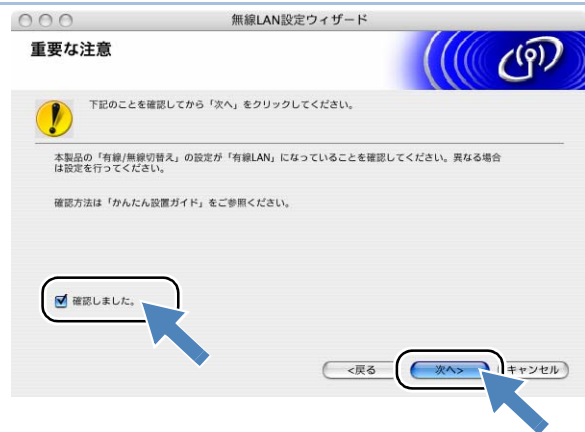
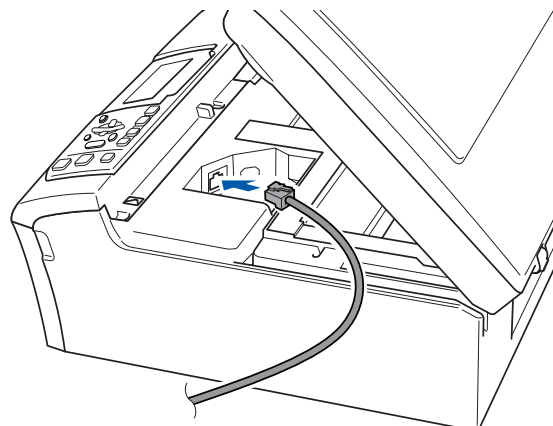
本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません」を選び、［次へ］をクリックします。
以降の手順は、P.3-15 の 12 をご覧ください。P.3-15

8 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼【LAN】 OK 【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、

OK を押す。

9 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

10 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを、LAN ケーブルで接続します。

LAN ケーブルがない場合は、以下の手順で設定を行います。
（1）「LAN ケーブルを持っていません」をチェックして [次へ] をクリックする。
（2）有線 / 無線切替えの設定を【無線 LAN】にするP.2-15
（3）無線接続ウィザードを使って設定するP.3-32

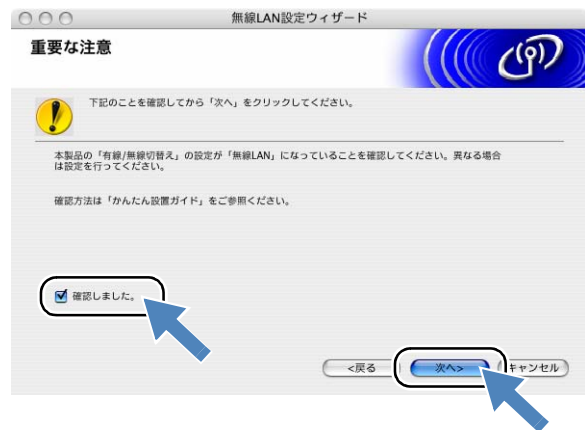
[次へ] をクリックします。
以降の手順は P.3-17 の 17 をご覧ください。
P.3-17

12 「このパソコンは無線 LAN で接続されている」を選び、「無線 LAN アクセスポイントをインフラストラクチャ通信で使用している」をチェックします。
[次へ] をクリックします。

13 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を変更します。

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼【LAN】 OK 【有線 / 無線切替え】を選び、 OK を押す。

(2) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、 OK を押す。

14 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

15 右の画面が表示されたら、現在の Macintosh® の無線設定を書き留め、［次へ］をクリックします。

本製品の無線 LAN 設定終了後に、設定を元に戻す必要があるため、必ず書き留めてください。

16 表示される画面のとおりに Macintosh® の無線設定を変更し、［変更しました］をチェックして、［次へ］をクリックします。

Macintosh® の設定を変更する方法は、お使いの Macintosh® のマニュアルをご覧ください。

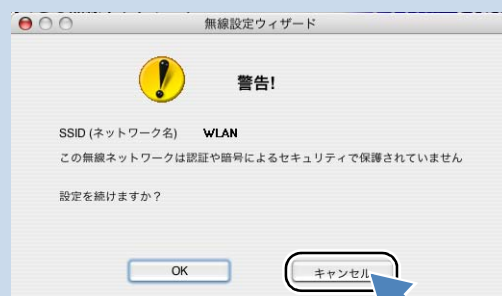
本製品を選び、［次へ］をクリックします。

● 本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

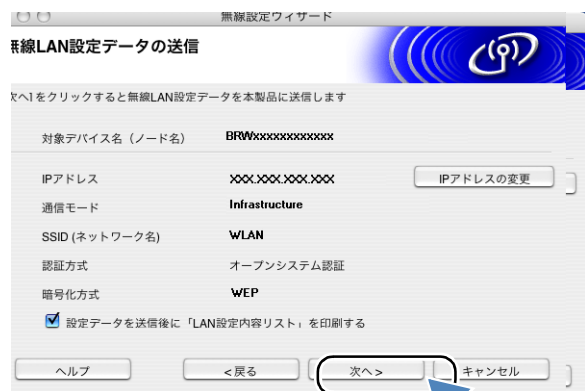
18 接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、［次へ］をクリックします。

※「SETUP」は、初期値のため、選ばないでください。

接続先の無線 LAN アクセスポイントが表示されない場合は、［追加］をクリックして、手動で設定してください。

右の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。

19 無線 LAN アクセスポイントに設定してあるものと同じ認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定して、［次へ］をクリックします。

20 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

● 本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。

メモ IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

メモ 本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続せずに設定を進めた場合は、右の画面が表示されます。手順 15 で書き留めた Macintosh® の設定に戻して、［終了］をクリックすると、無線 LAN の設定が終了します。引き続き、画面の指示に従って、プリンタドライバのインストールを進めてください。

LAN ケーブルを接続して設定を進めた場合は、右の画面が表示されます。本製品の LAN ケーブルを外して、［次へ］をクリックします。

［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックします。

以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、画面の指示に従って、プリンタドライバのインストールを進めてください。

無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品の LAN 設定を初期化して、再度設定してください。「LAN 設定リセット」P.2-16

Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが有線で接続されている場合

「Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合」の手順 1 ～ 6 を行います。

本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続状態を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを一時的に LAN ケーブルで接続できる場合は、「一時的に LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続します」を選びます。
以降の手順は、「Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合」の 9 をご覧ください。P.3-14

本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません」を選び、［次へ］をクリックします。

「このパソコンは LAN ケーブルで接続されている」を選び、［次へ］をクリックします。

右の画面が表示されたら、以下手順で設定を行います。

（1）有線 / 無線切替えの設定を【無線 LAN】にするP.2-15

（2）無線接続ウィザードを使って設定するP.3-32

無線 LAN の設定が終了したら、［完了］をクリックします。

引き続き、画面の指示に従って、プリンタドライバのインストールを進めてください。

無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品の LAN 設定を初期化して、再度設定してください。「LAN 設定リセット」P.2-16

AOSS™ 機能を使う

お使いの無線 LAN アクセスポイントが AOSS™ に対応している場合は、AOSS™ 機能を使って、かんたんに無線 LAN の設定を行うことができます。

※お使いの無線 LAN アクセスポイントに以下のロゴがついているかご確認ください。

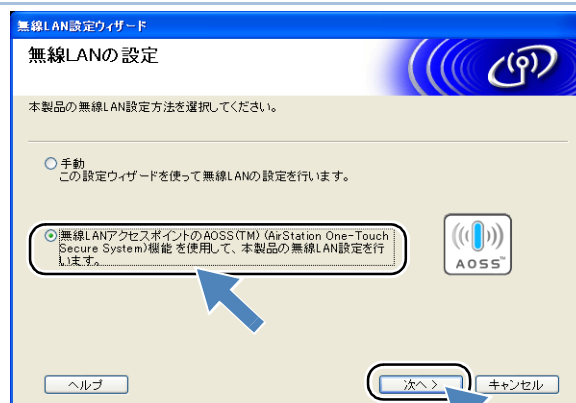
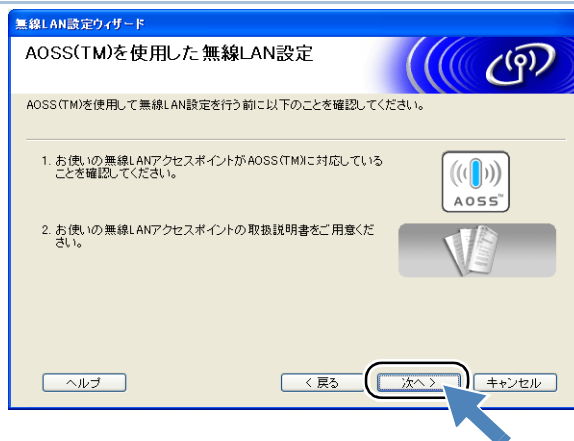
（Windows® の場合）

「パソコンと無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合（Windows®）」の手順 1 ～ 5 を行います。P.3-1

（Macintosh® の場合）

「Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントが無線で接続されている場合」の手順 1 ～ 5 を行います。P.3-12

「無線 LAN アクセスポイントの AOSS™ 機能を使用して、本製品の無線 LAN 設定を行います。」を選び、［次へ］をクリックします。

（画面は Windows® XP の場合です。）

内容を確認して、[次へ] をクリックします。

無線 LAN アクセスポイントを AOSS™ モードに設定します。
設定方法は無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

本製品の メニュー を押し、【LAN】 OK 【無線 LAN】 OK 【AOSS】 を選び、OK を押します。

※ MFC-480CN の場合は、AOSS を押します。
本製品が有線 LAN に設定されていた場合、自動的に無線 LAN に切り替わります。

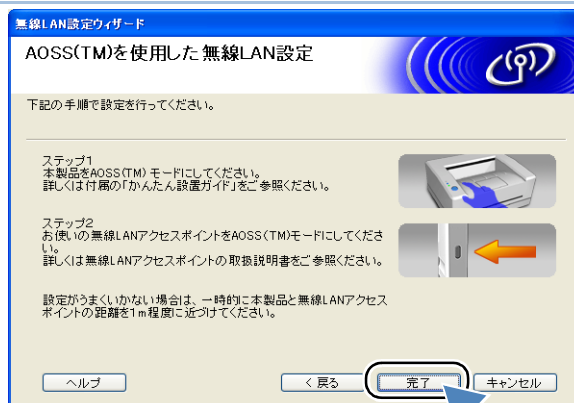
AOSS™ 設定中は、最長で 2 分程度、パネル操作ができなくなります。

OK を押します。

AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。設定が終わるまで、しばらくお待ちください。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに【AOSS 接続成功】と表示されます。

【AOSS 接続失敗】と表示された場合は、もう一度手順 2 から 6 をお試しください。

7 正常に接続されたら、［完了］をクリックします。

引き続き、Presto!® Page Manager® またはプリンタドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、インストールを進めてください。

設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけてください。

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、無線 LAN の設定を行う方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本製品のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定や確認ができる項目

本製品の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。この章では、無線 LAN の設定に関するメニューについて説明します。

メニュー名と項目名				参照先
LAN	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	2 章へ
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			ノード名	
			WINS 設定	
			WINS サーバ	
			DNS サーバ	
			APIPA	
		イーサネット		
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	P.3-25
			IP アドレス	P.3-25
			サブネットマスク	P.3-26
			ゲートウェイ	P.3-26
			ノード名	P.3-27
			WINS 設定	P.3-27
			WINS サーバ	P.3-28
			DNS サーバ	P.3-29
			APIPA	P.3-30
		無線接続ウィザード		P.3-32
		AOSS ※		P.3-34
		無線状態	接続状態	P.3-35
			電波状態	P.3-35
			SSID	P.3-35
			通信モード	P.3-36
	有線 / 無線切替え			P.2-15
	LAN 設定リセット			P.2-16

※ MFC-480CN では表示されません。

付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。

Windows® の場合 P.8-1

Macintosh® の場合 P.12-1

TCP/IP の設定（無線）

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。お買い上げ時は【Auto】になっています。

び、OK を押します。

◀ ▶ で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスを変更する場合は、【IP アドレスの取得方法】を【Static】に指定してください。P.3-25
Static 以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

び、OK を押します。

IP アドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。
続けて別のメニューを設定する場合は、▲▼ で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

メニュー を押し、【LAN】OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネットマスク】を選び、OK を押します。

サブネットマスクを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例） 255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。
続けて別のメニューを設定する場合は、で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルータ）を使用しない場合は 000.000.000.000 にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

メニュー を押し、【LAN】OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】を選び、OK を押します。

ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
例） 192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。
続けて別のメニューを設定する場合は、で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
有線 / 無線切替えを【無線 LAN】に設定した場合の初期値は、BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルからノード名を入力・変更することはできません。現在のノード名の確認はできます。
  ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。
- 設定の変更は、リモートセットアップでも行うことができます。Windows® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.7-1、Macintosh® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.11-1 をご覧ください。

メニュー を押し、【LAN】OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】を選び、

OK を押します。

ノード名を入力し、OK を押します。

例）　BRWxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。
続けて別のメニューを設定する場合は、で設定したい項目に移動します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名を 15 文字を超えて入力することはできません。
NetBIOS でサポートされているノード名は 15 文字までです。

WINS 設定

この項目で本製品が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto

DHCP サーバから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバアドレスを取得します。IP アドレスの取得方法が【Auto】に設定されている必要があります。

Static

手動で WINS サーバアドレスを設定します。

を押し、 【LAN】【無線 LAN】【TCP/IP】【WINS 設定】を選び、

 を押します。

で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、 を押します。

お買い上げ時は【Auto】になっています。
WINS 設定が登録されます。

を押します。

設定メニューを終了します。

● WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

●プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバにノード名を登録します。

●セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

を押し、【LAN】【無線 LAN】【TCP/IP】【WINS サーバ】を選び、を押します。

で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、を押します。

WINS サーバのアドレスを入力し、を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-2
WINS サーバのアドレスが登録されます。
続けて別のメニューを設定する場合は、で設定したい項目に移動したあと、クリア/バック または を押します。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。スキャン E メール機能を使用する場合は必ず設定してください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

1 メニュー を押し、▲▼【LAN】OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】を選び、OK を押します。

2 ▲▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、OK を押します。

3 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-2
DNS サーバのアドレスが登録されます。

続けて別のメニューを設定する場合は、▲▼設定したい項目に移動したあと、クリア/バック または ◀ を押します。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本製品に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.14-2

1 メニュー を押し、▲▼【LAN】OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】を選び、OK を押します。

2 で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時は【オン】に設定されています。
APIPA の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

無線 LAN 設定

無線ネットワークについて

チャンネル

無線ネットワークではチャンネルを使用します。IEEE802.11ｂ では 14 チャンネル、IEEE802.11ｇ では 13 チャンネルまで使用できますが、近所で無線 LAN アクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を 5 チャンネル離して設定するのが理想的です。

SSID

それぞれの無線ネットワークでは独自の SSID を持っています。SSID は無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器と同じ SSID に設定してください。

認証方式と暗号化方式について

有線ネットワークとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線ネットワーク環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線ネットワークに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

●認証方式

本製品がサポートする認証方式は次のとおりです。
- **オープンシステム認証：認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。**
- **共有キー認証（インフラストラクチャ通信のみ）：あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。**
- **WPA-PSK/WPA2-PSK：定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSK による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も WPA-PSK/WPA2-PSK に対応している必要があります。**

●暗号化方式

本製品は暗号化方式として WEP 、TKIP および AES をサポートしています。
- なし：暗号化を行いません。
- **WEP：WEP（Wired Equivalent Privacy）の機能を用いてデータを暗号化し送受信を行います。**
- **TKIP：定期的に暗号化キーが変更される暗号化方式です。高いセキュリティを実現できます。**
- **AES：AES（Advanced Encryption Standard）は WiFi Alliance が認定するより強力な暗号化方式です。**

暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次のとおりです。

● WEP 暗号化方式

- **64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。**
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- **64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234aba"
- **128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。**
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- **128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

● TKIP/AES 暗号化方式

PSK（事前共有キー）を ASCII 文字 / 半角 8 ～ 63 文字以内で入力します。
TKIP や AES の暗号化キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。

本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

主な推奨用語	各メーカーで使用されている用語
SSID	ネットワーク名、ESS-ID、ESSID
SSID の隠ぺい	SSID ステルスモード、SSID 非通知
アドホック通信	ピアツーピア通信、無線 LAN パコン通信
インフラストラクチャ通信	アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信
キーインデックス	WEP キー番号、キー番号
共有キー認証	シェアードキー認証
無線 LAN	ワイヤレス LAN
無線 LAN アクセスポイント	無線 LAN ルータ、ワイヤレス・ブロードバンドルータ
無線 LAN 端末	無線 LAN 子機、ワイヤレスステーション

無線接続ウィザード

ウィザード形式で、SSID 認証方式と暗号化方式、ネットワークキーを設定します。P.2-15

アドホック通信の場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておいてください。

を押し、

【無線接続ウィザード】を選び、

を押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。OK を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。

(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁まで）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。

で接続先の SSID を選び、OK を押します。

接続先の SSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

(1) で【<New SSID>】を選び、OK を押す

(2) 接続先の SSID を入力し、OK を押す
　操作パネルからの入力方法 P.2-2

(3) で通信モードを選び OK を押す
　【インフラストラクチャ】または【アドホック】のいずれかを選びます。
　※【アドホック】を選んだ場合は、4 に進みます。

通信モードがインフラストラクチャの場合は、で認証方式を選び、OK を押します。

- オープンシステム認証の場合：【オープンシステム認証】⇒ 4 へ
- 共有キー認証の場合：【共有キー認証】⇒ 5 へ
- WPA-PSK または WPA2-PSK の場合：【WPA/WPA2-PSK】⇒ 6 へ

で暗号化方式を選び、OK を押します。

【なし】または【WEP】のいずれかを選びます。
【なし】を選んだ場合は、8 に進みます。

で使用する WEP キーを選び、OK を押します。

キーが「＊＊＊＊」と表示されている場合は、【変更／変更しない】と表示されるので、【変更】を選んで、OK を押します。

で暗号化方式を選び、OK を押します。

暗号化方式は【TKIP】または【AES】を選びます。

暗号キーを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-2

【設定を適用しますか？】と表示されたら、1 あ（MFC-XXXX の場合）または + （DCP-XXXX の場合）を押します。

本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに【接続しました】と表示されます。

AOSS

AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線アクセスポイントをお持ちの場合は、ボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。
※「AOSS™」を使用するには、お使いのルータ、無線 LAN アクセスポイントが、「AOSS™」に対応している必要があります。以下のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントの AOSS™ ボタンを押します。

本製品の メニュー を押し、【LAN】 OK 【無線 LAN】 OK 【AOSS】を選び、 OK を押します。
※ MFC-480CN の場合は、AOSS を押します。
AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。
本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK を押すと、無線 LAN に切り替わり、AOSS 接続が開始されます。

【通信エラー】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。

設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけてください。

無線 LAN の状態表示

無線 LAN をお使いの場合、LAN 設定や状況を確認できます。

接続状態

接続状態を表示します。

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】または【アクティブ（11g)】と表示されているときは、正常に接続されています。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

電波状態

電波状態を表示します。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SSID

SSID を表示します。

SSID が表示されます。

停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

通信モード

通信モードを表示します。

1 **メニューを押し、▲▼【LAN】OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【通信モード】を選び、OK押します。**

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。

2 **停止/終了を押します。**

設定メニューを終了します。

Windows® 編

第 4 章 ネットワークプリンタとして使う

概要

かんたん設置ガイドの手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。使用するプロトコルは TCP/IP です。インストーラーを使わずにプリンタドライバのみインストールする場合は、次ページの手順で設定してください。

●プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

プリンタドライバをインストールする

すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがインストール済みの場合」P.4-5 をご覧ください。

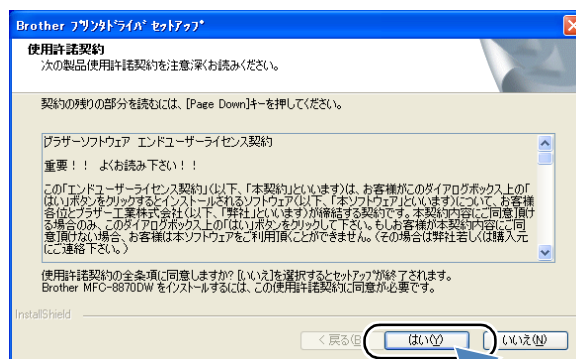
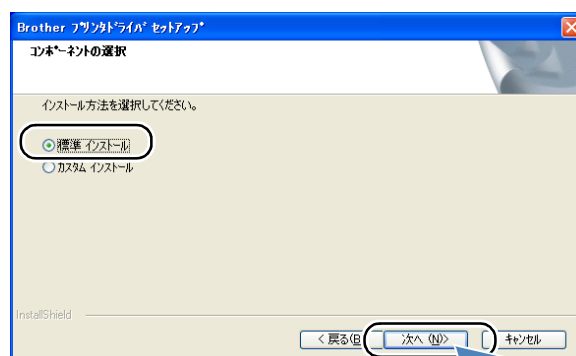
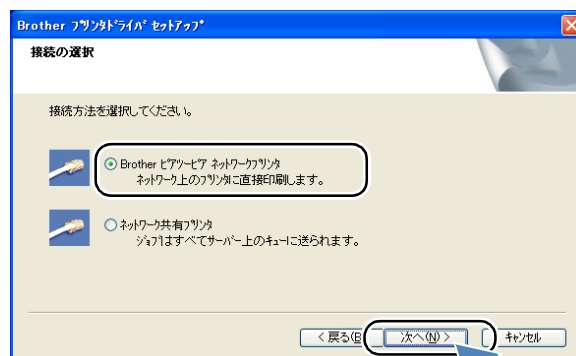
付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

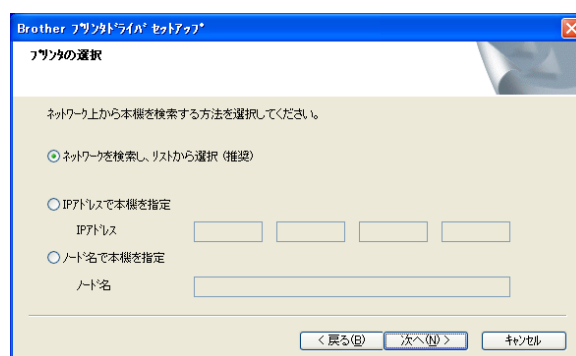
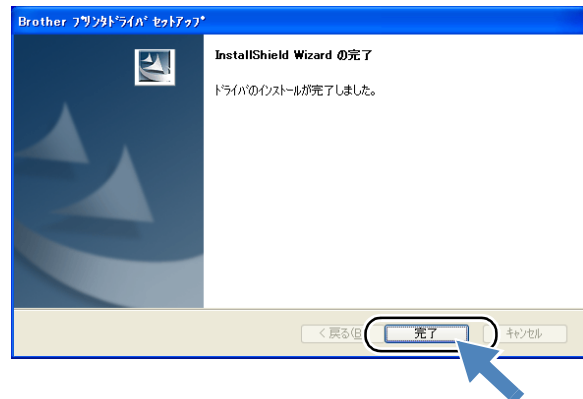
「その他ソフトウェアとユーティリティ」をクリックします。

3

「プリンタドライバ」をクリックします。

［次へ］をクリックします。

5 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。

6 「標準インストール」を選び、［次へ］をクリックします。

7 「Brother ピアツーピアネットワークプリンタ」を選び、［次へ］をクリックします。

8 プリンタの選択方法を選びます。

以降は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。

［完了］をクリックします。
プリンタドライバのインストールが完了します。

プリンタドライバがインストール済みの場合

すでにパソコンにプリンタドライバがインストールされている場合は、以下の手順で TCP/IP ポートの追加と本製品の関連付けを行います。

コントロールパネルの［プリンタ］を表示します。

- Windows Vista™ の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

- Windouws Vista™ の場合は、設定するプリンタを右クリックして、［プロパティ］を選びます。
- Windows® 2000/XP の場合は、設定するプリンタをクリックして、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選びます。

［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

［Standard TCP/IP Port］を選び、［新しいポート］をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
画面の指示に従って、TCP/IP ポートの追加と関連付けを行ってください。

その他のプリンタドライバのインストール方法

Web Services を使用する（Windows Vista™ のみ）

Windows VistaTM の場合は、Web Services を利用してプリンタドライバをインストールすることができます。

“ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか”、または“ルータを 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか”のどちらかを確認してください。

1 ［スタート］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

2 本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されますので、右クリックして［インストール］をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

本製品の Web Services 名は、モデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。
例）Brother MFC-XXXX［XXXXXXXXXXXX］

3 管理者権限のあるユーザーの場合は、［続行］をクリックします。
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」を選択します。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 管理者権限のあるユーザーの場合は、［続行］をクリックします。
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

6 「オンラインで検索しません」を選択します。

7 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

8 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択します。

9 CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択し、［OK］をクリックします。
X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
(X は CD-ROM ドライブ）

10 ［次へ］をクリックします。
インストールが開始されます。

第 5 章 ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存したりできる機能です。

あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。
すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

ネットワークスキャンの設定

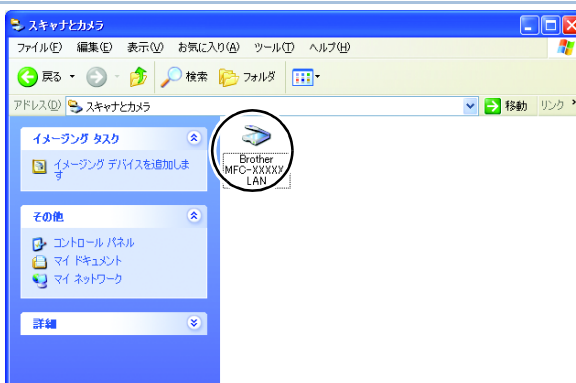
本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピュータ名）をあらかじめ登録する必要があります。初期設定では、スキャンしたデータは「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、登録したパソコンの名前を変える場合には、以下の手順で設定してください。

コントロールパネルを表示します。

- Windows® XP および Windows Vista™ の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows®2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］―［コントロールパネル］をクリックします。

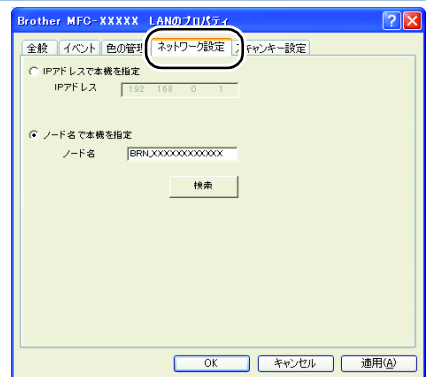
- Windows Vista™ の場合
  ［ハードウェアとサウンド］―［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows®XP の場合
  ［プリンタとその他のハードウェア］―［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows®2000 の場合
  ［設定］―［コントロールパネル］―［スキャナとカメラ］をクリックします。

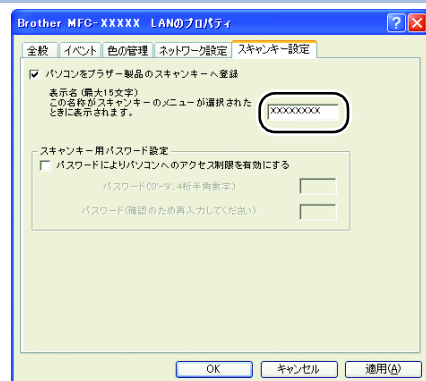
「スキャナとカメラ」が表示されます。

接続している本製品のモデル名をクリックして選びます。

右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

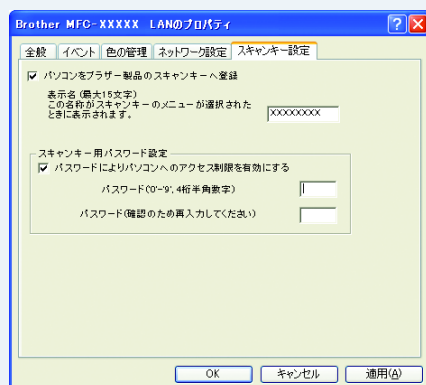
「ネットワーク設定」タブで項目を設定します。

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

「スキャンキー設定」タブをクリックします。

データを保存するパソコンの名称を変更します。

［OK］をクリックします。

設定が変更されます。

スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「スキャンキーのパスワード設定」で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。

第 6 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成した印刷データを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

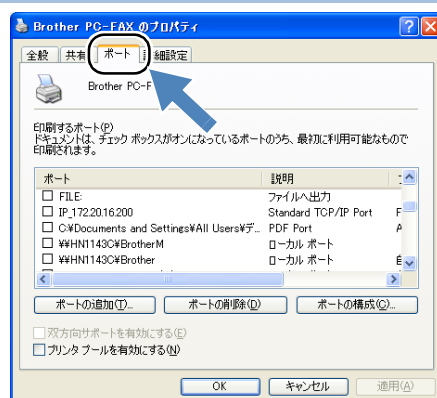
アプリケーションから印刷を実行し、「Brother PC-FAX」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う準備

PC-FAX の関連付け

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順に選びます。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
ブラザー PC-FAX のアイコンは、ドライバインストール時にインストールされます。
ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。
複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

［OK］をクリックします。
これで設定は完了です。

ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクシミリに電話線を通じてファクスを送信する
送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、PC-FAX アドレス帳から相手先を選んでください。
ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 7 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

リモートセットアップを起動する

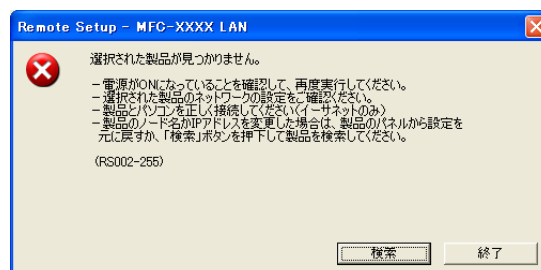
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［モデル名］－［リモートセットアップ］の順に選びます。

本製品に接続し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「リモートセットアップ」

ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは "access" に設定されています。

本製品との接続に失敗した場合

エラーメッセージの［検索］をクリックします。

表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選び、［OK］をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。

表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合

［手動設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先の IP アドレスまたはノード名を入力して設定してください。

第 8 章 BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows のみ）のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。
Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows Vista で使用できます。
BRAdmin Light のインストールについては、本製品の付属の「かんたん設置ガイド」を参照してください。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
（**http://solutions.brother.co.jp/**）でもご参照いただけます。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

メモ
ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

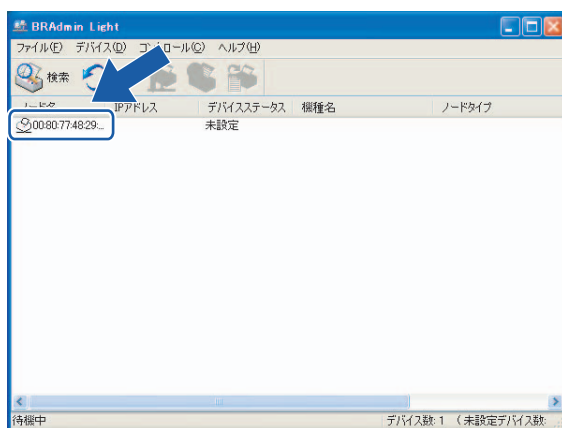
- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.2-17 を参照してください。

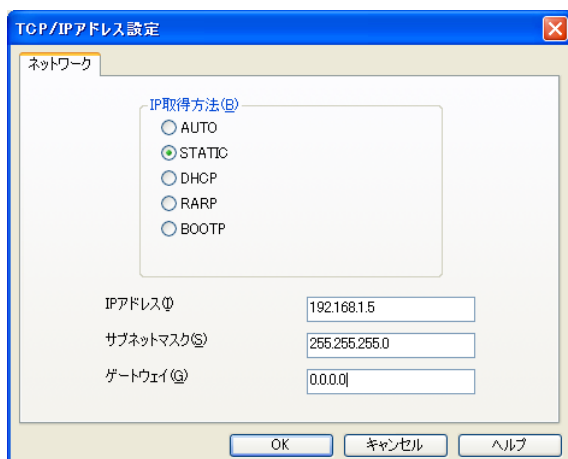
- Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。
  詳しい設定方法については「Windows® のインターネット接続ファイアウォールの問題」P.13-7 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。

- ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

3 新しいデバイスをダブルクリックします。

- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- お買い上げ時のユーザ名は “admin” で、パスワードは “access” に設定されています。

4 ［STATIC］を選択した後、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。

5 **［OK］をクリックします。**

6 **本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。**

設定を変更する

1 **BRAdmin Light を起動します。**

- ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

2 **設定を変更するデバイスを選択します。**

3 **［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。**

4 **パスワードを入力します。**

お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

5 **必要に応じて、設定を変更します。**

メモ BRAdmin Professional を利用すると、さらに詳細な設定ができます。BRAdmin Professional は、「サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）」（**http://solutions.brother.co.jp/**）からダウンロードできます。

操作パネルを使用する

操作パネルの設定メニューで「LAN」メニューから本製品のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」P.2-2 を参照してください。

Macintosh® 編

第 9 章 ネットワークプリンタとして使う

設定の流れ

本製品は Mac OS X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されている本製品を簡単に使用できるように設定できます。

●プリントサーバ（本製品）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。
IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」P.1-6 をご覧ください。

プリントサーバの設定を行う

必要に応じてプリントサーバに IPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

↓

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。

簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンタとして利用できます。設定方法については、かんたん設置ガイド「LAN ケーブルで接続する場合」または「無線 LAN に接続する場合」をご覧ください。

BRAdmin Light について
BRAdmin Light は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。
BRAdmin Light は、ドライバをインストールすると自動的にインストールされます。詳しくは、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

第 10 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、Macintosh® 上のアプリケーションで作成した印刷データを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 11 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集したりできます。

リモートセットアップを起動する

[Macintosh HD] ー [ライブラリ] ー [Printers] ー [Brother] ー [Utilities] から [Remote Setup] アイコンをダブルクリックします。

本製品への接続を開始し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップの画面が表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「リモートセットアップ」

本製品との接続に失敗した場合

[Macintosh HD] ー [ライブラリ] ー [Printers] ー [Brother] ー [Utilities] ー [Device Selector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックします。

[ネットワーク] を選びます。

[検索] をクリックします。

表示される機器の一覧から、接続する機器を選び、[OK] をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。

第12章 BRAdmin Lightで設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows のみ）のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。
Mac OS X 10.2.4 以降で使用できます。
ドライバをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）でもご参照いただけます。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

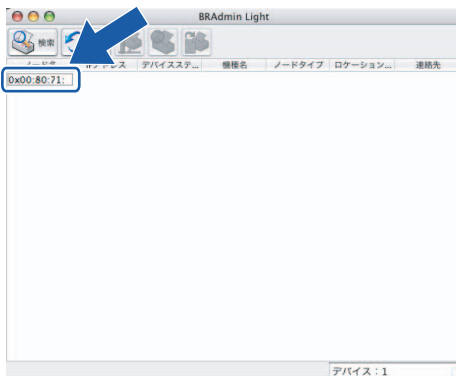
- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.2-17 を参照してください。

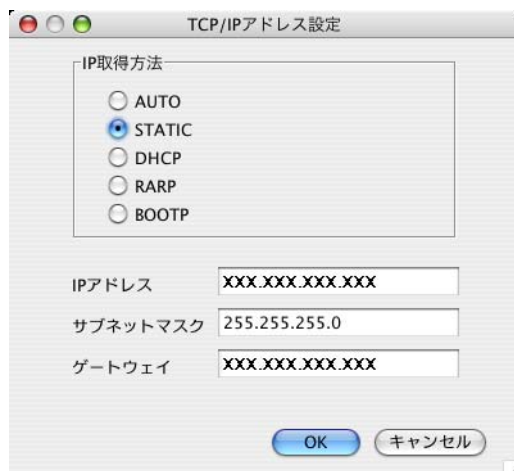
・アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。

- デスクトップ上の［Macintosh HD］(起動ディスク）から［ライブラリ（Library)］ー［Printers］ー［Brother］ー［Utilities］の順に開き、［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

3 新しいデバイスをダブルクリックします。

- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

4 ［STATIC］を選択した後、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。

5 ［OK］をクリックします。

6 本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。

設定を変更する

BRAdmin Light を起動します。

- デスクトップ上の［Macintosh HD］（起動ディスク）から［ライブラリ（Library）］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の順に開き、［BRAdminLight.jar］をダブルクリックします。

2 **設定を変更するデバイスを選択します。**

3 **［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。**

4 **パスワードを入力します。**

お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

5 **必要に応じて、設定を変更します。**

操作パネルを使用する

操作パネルの設定メニューで「LAN」メニューから本製品のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」P.2-2 を参照してください。

こんなときは

第 13 章 トラブルシューティング

概要

本製品を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を以下の 6 つに分けています。該当する問題のページをご覧ください。

- 一般的な問題P.13-2
- 接続と設定の問題P.13-3
- プロトコル固有の問題P.13-6
- ファイアウォールの問題P.13-7
- 無線 LAN の問題P.13-10
- その他の問題P.13-13

一般的な問題

CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない（Windows® のみ）

ご使用のコンピュータが自動起動に対応していないと、CD-ROM を挿入した後にメニューが自動的に表示されません。この場合は、CD-ROM の内容を表示して「start.exe」を実行してください。

本製品のネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットする方法

「**LAN** 設定リセット」を実行します。P.2-16

接続と設定の問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、以下の手順で確認します。

物理的に接続できているか確認します。

接続したルータまたはハブのリンクランプを確認します。点灯、または点滅していない場合は LAN ケーブルを交換したり、ハブの別のコネクタに接続し直します。

LAN ケーブルを確認します。

ストレートケーブルを使用せず、クロスケーブルで接続すると正しく認識されません。ケーブルに混在が心配される場合は、透明樹脂コネクタを並べ、結線の色を見ることで簡単に調べられます。ストレートケーブルの色の並びは同じですが、クロスケーブルの場合は色の並びが異なっています。

同一のネットワークに接続されているか確認します。

同一セグメント (ルータ内で物理的に同じ接続) であっても、IP アドレスに誤りがあると、別のネットワークに接続されていると認識されます。すでに利用中のパソコンがある場合は、接続しているネットワークの情報を調べます。

Windows®2000/XP および Windows Vista™ の場合

Windows メニューのコマンドプロンプトから ipconfig /all を実行します。

Mac OS X 10.2.4 以降の場合

「システム環境設定」の「ネットワーク」で確認できます。

例）利用中のパソコンの情報が以下の場合

IP アドレス	192.168.　1. 50
サブネットマスク	255.255.255.　0

本製品の IP アドレスが、192.168.1.x に設定されているかを確認してください。例えば、192.168.0.x となっていると、異なるネットワークアドレスと認識されるため、印刷できなくなります。

ルータを再起動します。

ルータはアクセスを速くする為にルーティング・テーブルを持っています。これは一定期間、情報を保持し必要に応じて更新されます。もし、ネットワーク内で接続し直したり接続しているノードの IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、全ての IP アドレスに誤りが無くても正常に動作しない場合があります。この場合はルータを再起動させて回避できます。再起動の操作手順については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

本製品がオンラインで印刷できる状態か確認します。

LAN 設定内容リストを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。
「LAN 設定内容リストの出力」P.2-17をご覧ください。

LAN 設定内容リストが正常に印刷されない場合は、以下の内容を確認してください。

① 本製品から LAN ケーブルで接続しているハブ側の LAN ケーブルを外し、もう一度接続し直してください。このとき、操作パネルに数秒間「LAN 接続アクティブ」と表示されます。
表示されない場合は、ネットワーク設定に異常がある可能性があります。

②「LAN 接続アクティブ」が表示されない場合は、本製品をお買い上げ時の設定に戻します。詳しくは、「LAN 設定リセット」P.2-16をご覧ください。初期化した後で、LAN 設定内容リストを印刷します。

LAN 設定内容リストは印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、以下の手順を確認します。

どの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

TCP/IP を使用している場合

パソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

Ping ipaddress

「ipaddress」は本製品の IP アドレスです。
本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.13-6のトラブルシューティングへ進みます。
  例）**C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答がない場合は、手順 7 を確認した後で、「TCP/IP のトラブルシューティング」P.13-6へ進みます。
  例）**C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

手順 6 で接続できなかった場合は、以下の項目を確認します。

① 本製品がオンラインになっていることを確認します。
② 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、LAN 設定内容リストを印刷します。
P.2-17 <Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。

8 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。

他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、本製品を別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが正しく機能していたかどうかを確認します。

9 本製品とホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストから本製品へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本製品の IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本製品で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。

設定エラーによる原因をなくすため、確認の前に以下の手順を行います。
- 本製品の電源を入れ直します。
- ネットワークプリンタの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

① 本製品に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。「LAN 設定内容リストの出力」P.2-17をご覧ください。

② ネットワーク上で本製品に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。本製品の LAN ケーブルを外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

2 本製品に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本製品に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、パネル操作で間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らなかったりする場合があります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static」に変更してから IP アドレスを指定してください。

3 TCP/IP が本製品で使用する設定になっていることを確認します。

4 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しい MAC アドレス（イーサネットアドレス）が記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

5 bootp を使用した場合は、bootp が有効になっていることを確認します。

6 ホストコンピュータと本製品が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信ができるようにルータが設定されていることを確認します。

ファイアウォールの問題

Windows® のインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows® XP/Windows Vista™ で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IP ピアツーピア印刷　印刷ができない場合があります。
- ネットワークスキャナ　本製品の スキャン による以下の機能が利用できません。
  - ・スキャン E メール
  - ・スキャンイメージ
  - ・スキャン OCR
  - ・スキャンファイル
- ネットワーク PC-FAX 受信　受信ができない場合があります。
- BRAdmin Light　プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

Windows® XP Service Pack1 の場合

●インターネット接続ファイアウォールを無効にする

1. コントロールパネルから［ネットワーク接続］をクリックします。
2. 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
3. ［詳細設定］タブをクリックします。
4. ［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを OFF にします。

●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1. ［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを ON にします。
2. プロパティシートの右下の［設定］ボタンをクリックします。

[サービス] タブが選択されている画面で、[追加] ボタンをクリックし、以下の情報を入力します。
- サービスの説明
  “NetBIOS NameService”(名称は任意です。)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”(本製品に割り当てた IP アドレス)
- このサービスの外部ポート番号
  “137”
- このサービスの内部ポート番号
  “137”

プロトコル(TCP/UDP)は、“UDP”を選択してください。

[OK] ボタンをクリックします。

ネットワークスキャンを行う場合は、同様の手順で、以下の情報を入力します。
- サービスの説明
  “Brother NetScan”(名称は任意です)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”(本製品に割り当てた IP アドレス)
- このサービスの外部ポート番号
  “54925”
- このサービスの内部ポート番号
  “54925”

プロトコル(TCP/UDP)は“UDP”を選択してください。

ネットワーク PC-FAX 受信を行う場合は、同様の手順で、以下の情報を入力します。
- サービスの説明
  “Brother PC-FAX RX”(名称は任意です)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”(本製品に割り当てた IP アドレス)
- このサービスの外部ポート番号
  “54926”
- このサービスの内部ポート番号
  “54926”

プロトコル(TCP/UDP)は“UDP”を選択してください。

[OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

Windows® XP Service Pack2/Windows Vista™ の場合

●インターネット接続ファイアウォールを無効にする

コントロールパネルから、[セキュリティ] - [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックします。
- Windows® XP の場合
  コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続] − [Windows ファイアウォール] をクリックします。

［全般］タブが選択されている画面で、［無効（推奨されません)］をクリックします。

●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

［例外］タブをクリックします。

［ポートの追加］ボタンをクリックします。

［ポートの追加］ウィンドウで、以下の情報を入力します。

- 名前
  “Brother NetScan”（名称は任意です）
- ポート番号
  “54925”

プロトコル（TCP/UDP）は、“UDP”を選択してください。

ネットワーク PC-FAX 受信を行う場合は、同様の手順で、以下の情報を入力します。

- 名前
  “Brother PC-FAX RX”（名称は任意です）
- ポート番号
  “54926”

プロトコル（TCP/UDP）は、“UDP”を選択してください。

「ポートの追加」ウィンドウの左下の［スコープの変更］ボタンをクリックします。

「スコープの変更」ウィンドウで、［ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ］を選択します。

［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

ローカルネットワークで複数の Windows® XP をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows® XP のファイアーウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター TM、Norton AntiVirusTM など）でパーソナルファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows® XP や Windows VistaTM と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

無線 LAN の問題

無線接続ウィザードで本製品を検出できない

無線接続ウィザードを使用してセットアップをしているときに、利用可能な無線 LAN 端末のリストに本製品が表示されない場合は、【接続状態】が【アクティブ（11b)】または【アクティブ（11g)】となっていることを確認してください。「接続状態」P.3-35
【停止中】と表示される場合は、本製品が正常に機能していないことがあります。次の項目をチェックしてください。

一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう 1 度操作を繰り返します。

本製品を初期設定に戻して、もう一度操作を繰り返します。

工場出荷時の初期設定にリセットする方法については、「**LAN** 設定リセット」P.2-16を参照してください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

接続先の無線 LAN アクセスポイントの属するネットワーク内のコンピュータと本製品が正常に通信できないときは、無線 LAN アクセスポイントに接続できていない可能性があります。次の項目をチェックしてください。

無線 LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスによる接続制限をしている場合は、接続を許可する MAC アドレスのリストに本製品の MAC アドレスを追加登録してください。

無線 LAN アクセスポイントに WEP キーなど暗号化キーの設定がされている場合は、本製品にも無線 LAN アクセスポイントに合わせた設定を行ってください。

無線 LAN で印刷ができない

本製品の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう 1 度操作を繰り返します。

3 本製品のネットワーク設定ページを印刷し、無線設定および IP アドレスの設定などが使用するネットワークに適していることを確認してください。
不正な無線設定または重複した IP アドレスが原因でトラブルが発生することがあります。無線設定および IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。また、その IP アドレスがネットワーク上の他のノードで使用されていないことを確認してください。

OS のコマンドプロンプトから以下のように、ping（ネットワーク診断プログラム）を本製品に対して実行してください。

ping 192.168.1.3

192.168.1.3 は本製品の IP アドレスです。（IP アドレスを設定した後または電源を入れた後、本製品が IP アドレスを表示するまでに数分かかることがあります。）

- 応答が正しく返される例：下記のように表示されます。
  例）C:¥>ping 192.168.1.3

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない例：下記のように表示されます。
  例）C:¥>ping 192.168.1.3

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

上記の手順 3 または 4 が正しく終了しなかった場合には、本製品を初期設定に戻し、最初からもう 1 度設定します。

工場出荷時の初期設定にリセットする方法については、「**LAN** 設定リセット」P.2-16を参照してください。

Windows® XP や Windows Vista™ のインターネット接続ファイアウォール（ICF）など、個人用のファイアウォールがコンピュータで作動していないことを確認します。ファイアウォールが作動している場合は、一時的に無効にして、もう一度操作を繰り返してください。

● 印刷中のエラー

他のユーザーが大量のデータ（例：多量のページまたは高解像度のカラーページ）を印刷している間に印刷を実行すると、本製品は実行中の印刷が終了するまで印刷ジョブを受け付けることができません。
印刷ジョブの待ち時間を超えると、エラーメッセージを返します。このようなときは、他のユーザーのジョブが終了した後に印刷を再度実行してください。

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、最新のプリンタドライバがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。

プリンタの最新ドライバは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(**http://solutions.brother.co.jp/**）からダウンロードできます。

その他、まれに発生する問題の原因は、「プロトコル固有の問題」P.13-6をご覧ください。

第 14 章 付録

操作パネル以外から IP アドレスを設定する

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

IP アドレスの設定

IP アドレスの自動設定機能（APIPA）
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」P.2-13を参照してください。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する P.2-6
- DHCP を使用して自動的に設定する P.14-2
- APIPA を使用して自動的に設定する P.14-2
- RARP （rarp）を使用する P.14-2
- BOOTP を使用する P.14-3
- 手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light（Windows® 2000/XP および Windows Vista™）P.14-2

IP アドレスの設定方法

手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP および Windows Vista™ で使用できるソフトウェアです。TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます。

BRAdmin Light では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品の初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する」P.8-1をご覧ください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは
0．0．0．0 に自動的に設定します。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

RARP を使用する

UNIX ホストコンピュータなどで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品の IP アドレスを設定できます。

00:80:77:31:01:07 BRNXXXXXXXXXXXX

最初のエントリは、本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリは本製品の名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行する必要があります。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。

本製品の電源を On にすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを以下に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i

システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルをご覧ください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、以下に示します。

BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、ネットワークプリンタの電源をオンにすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

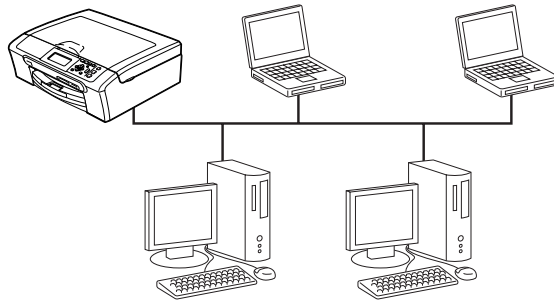
対応ポート	OS
LPR	Windows® 2000/XP および Windows Vista™

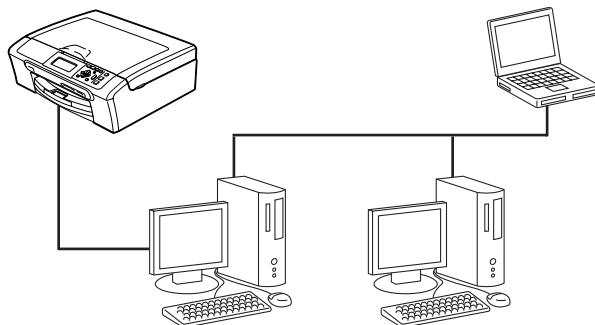
本製品はパラレルポートおよび IPP はサポートしていません。

接続方法

オートマチックドライバインストーラは、以下のネットワーク環境で使用できます。

ブラザーピアツーピアネットワークプリンタ

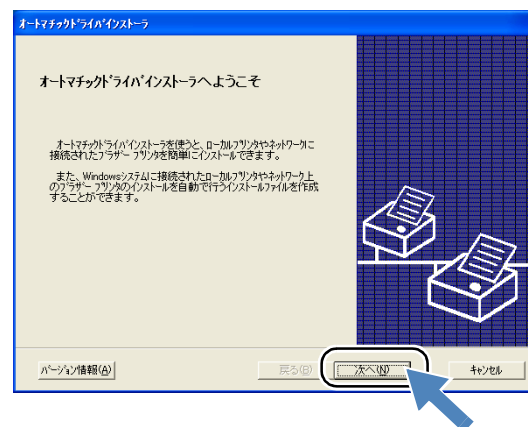
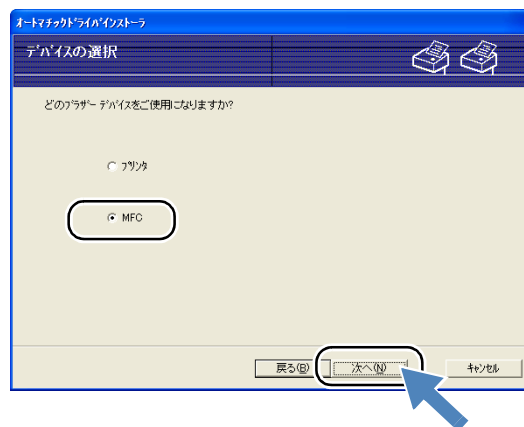
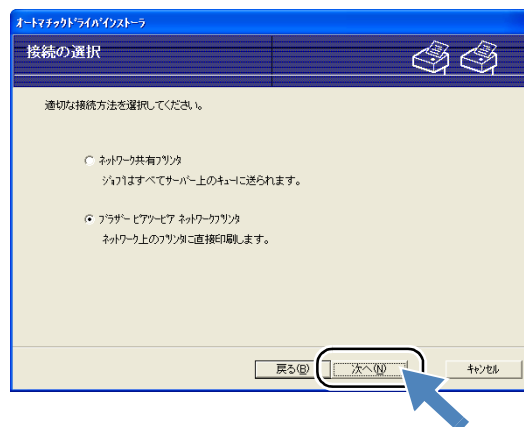
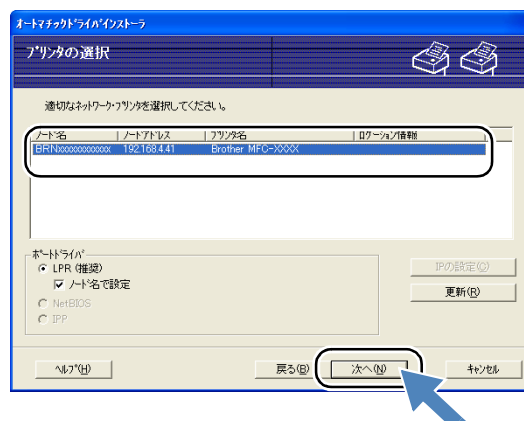
本製品がネットワーク経由で直接パソコンと接続されている環境です。（LPR、NetBIOS など）

ネットワーク共有プリンタ

本製品が特定のパソコンまたはサーバーなどを経由してネットワーク接続している環境です。
（Windows® サーバーによる共有、Windows® クライアントによる共有など）

オートマチックドライバインストーラを使う

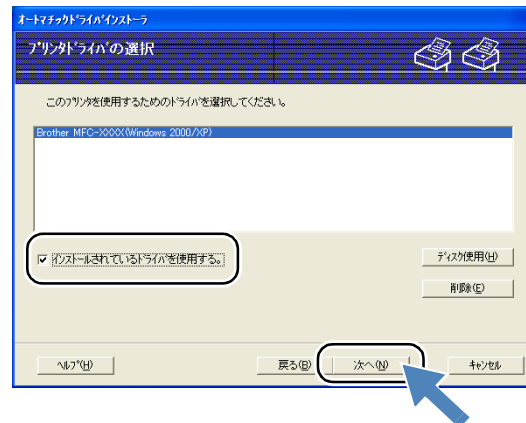
付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

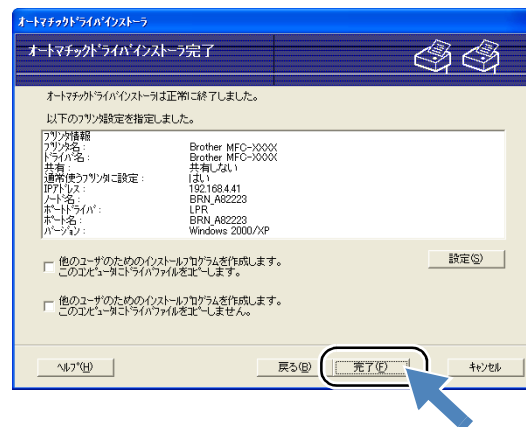
「その他ソフトウェアとユーティリティ」をクリックします。

3 「オートマチックドライバインストーラ」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。

4 ［次へ］をクリックします。

「MFC」を選び、［次へ］をクリックします。

6 接続方法を選び、［次へ］をクリックします。

本製品を選び、［次へ］をクリックします。

メモ プリンタに IP アドレスが設定されていない場合は、デバイスを選択して、［IP の設定］をクリックします。表示される画面で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイのアドレスを設定します。

「インストールされているドライバを使用する」をオンにして表示される画面で、プリンタドライバを選び、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバが表示されない場合は、[ディスク使用]をクリックして、プリンタドライバのある場所を指定してください。

内容を確認して、[完了]をクリックします。

選択したプリンタドライバがインストールされます。

プリンタドライバのインストールプログラムを作成する場合は、以下のいずれかにチェックしてください。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」

ネットワーク共有用のインストールプログラムを、ネットワークプリンタにアクセスできないユーザーが実行すると、ポートの設定が LPT1 になります。

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話 (アナログ) 回線を利用して、数 M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバ側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP （BOOTstrap Protocol ）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てることができます。サービスを実行するにはサーバもしくは、その機能を有するルータが必要です。

● DNS サーバ

Domain Name System という体系で命名されたホスト名 (ドメイン名) から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。
光ファイバーを使用すると、高速なインターネット接続や格安なひかり電話サービスを利用することができます。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

● LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるコンピュータ同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

● MAC アドレス（イーサネットアドレス）

OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● mDNS （multicast DNS)

DNS サーバが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピュータがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

● ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

● RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

● SOHO

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指します。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト (アプリケーション) を特定して通信路を確立するプロトコル (TCP) と、通信経路 (IP) から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4 、IP はレイヤー 3 に対応しています。

● WINS

Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です。

● WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

●カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット (1000BASE-T) によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略で、「より線」のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●**ゲートウェイアドレス**

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。
ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●**サブネットマスク**

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●**スイッチング・ハブ**

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブで相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●**ノード**

node 。ネットワークに接続されているコンピュータなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●**ルータ**

ネットワーク間 (LAN と LAN 、LAN と WAN) の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT(アドレス変換) の機能があります。

無線 LAN に関する用語

IEEE802.11b 及び IEEE802.11g

IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11g は IEEE802.11b の上位互換であり、更に高速な最大 54M ビット / 秒での通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b 及び IEEE802.11g の両方の規格に対応しています。

AES

米国商務省標準技術局が定めた次世代標準暗号化方式のことです。
IEEE802.11i の暗号化方式の一つに採用されています。

AOSS

AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、無線 LAN アクセスポイントへの接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

ASCII

American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

HEX

HEXADECIMAL の略。数字の 0 ～ 9 及びアルファベットの A ～ F を使用する 16 進数表示です。

MAC アドレスフィルタリング

無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は無線 LAN アクセスポイントに接続できなくなります。

SSID

Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN を他の無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に無線 LAN アクセスポイントの SSID を表示しないようにする場合もあります。（SSID の隠ぺい）

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとに暗号化キーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

WEP

Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通の暗号化キー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定した暗号化キーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

●WPA-PSK

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が提唱する WPA(Wi-Fi Protected Access) の Personal モードです。 WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP または AES 暗号化を使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。

●WPA2-PSK

次世代標準暗号化方式の「AES」を使用した強力な暗号技術を用いた承認方式の一つであり、AES 暗号化キーを使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。
WPA2-PSK 対応の無線 LAN 端末であれば WPA-PSK 互換モードにより、従来から使用されている WPA 対応機器との通信もできます。

●アドホック (Ad-hoc) 通信

無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

●インフラストラクチャ (Infrastructure) 通信

無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

●セキュリティ (Security)

無線 LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。したがって、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

●チャンネル (Channel)

無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線 LAN 内の全ての無線 LAN 端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

●ネットワーク認証

無線 LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK などがあります。

●信号強度

無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイント、または他の無線 LAN 端末から受信する電波の強さのことです。

●無線 LAN アクセスポイント

無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN ルータとも言われています。無線 LAN アクセスポイントはネットワークの中心に位置し、個々の無線 LAN 端末は無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。また、無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN のセキュリティ管理も行っています。

ネットワークの仕様

有線 LAN

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>モデル名</td><td colspan="2">NC-150h</td></tr>
<tr><td>対応 OS</td><td colspan="2">Windows® 2000 Professional/XP および Windows Vista™
Mac OS X 10.2.4 以降</td></tr>
<tr><td>ネットワーク</td><td colspan="2">10/100 BASE-TX</td></tr>
<tr><td>プロトコル</td><td>TCP/IP</td><td>ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA, WINS/NetBIOS, DNS, LPR/LPD, 9100 ポート , Raw ポート , mDNS, TELNET, SNMP, FTP Server, TFTP, LLTD, Web Services</td></tr>
</table>

無線 LAN

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>モデル名</td><td colspan="2">NC-160w</td></tr>
<tr><td>対応 OS</td><td colspan="2">Windows® 2000 Professional/XP および Windows Vista™
Mac OS X 10.2.4 以降</td></tr>
<tr><td>ネットワーク</td><td colspan="2">IEEE802.11b/g ワイヤレス</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="2">2400 ～ 2497 MHz</td></tr>
<tr><td>RF チャンネル</td><td colspan="2">802.11b (1-14), 802.11g (1-13)</td></tr>
<tr><td>接続モード</td><td colspan="2">アドホックモード (802.11b のみ), インフラストラクチャモード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">データ転送速度</td><td>802.11b</td><td>11/5.5/2/1 Mbps</td></tr>
<tr><td>802.11g</td><td>54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps</td></tr>
<tr><td>最大到達距離</td><td colspan="2">70m（最も低いデータ転送速度）
(数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。)</td></tr>
<tr><td>ネットワークのセキュリティ</td><td colspan="2">SSID (ESSID), 128 (104) / 64 (40) bit WEP, WPA-PSK (TKIP, AES), WPA2-PSK (AES)</td></tr>
<tr><td>プロトコル</td><td>TCP/IP</td><td>ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA, WINS/NetBIOS, DNS, LPR/LPD, 9100 ポート , Raw ポート ,mDNS, TELNET, SNMP, FTP Server, TFTP, LLTD, Web Services</td></tr>
<tr><td>電磁放射</td><td colspan="2">VCCI Class B</td></tr>
</table>

索　引